



至 創 努 校
誠 造 力 訓

め た せ こ い あ

島根県立吉賀高等学校 〒699-5522 鹿足郡吉賀町七日市 937

電話 (0856)78-0029 FAX (0856)78-0742

HP アドレス <http://www.yoshika.ed.jp/>

吉賀高校のキャリア教育について

吉賀高等学校 校長 熊谷修山

吉賀高校が、キャリア教育として『アントレプレナーシップ教育』を行っていることは、9月号でも紹介させていただきました。そもそもキャリア教育とは、改めて書くまでもないかもしれませんが、文部科学省の定義によれば「望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身に付けさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てる教育」としています。つまり、生徒が「働くこと」を柱に、将来のあり方・生き方を見通して、進路選択・決定ができるようにすることです。そして、吉賀高校の『アントレプレナーシップ教育』は、「起業」をテーマとすることで、生徒に自分の将来の職業観・あり方・生き方を考えてもらいたいというねらいがあります。

ところで、「起業」をテーマにしているということは、批判を恐れずに言うと、もう一面では「お金が儲かる」ということをテーマにしているということでもあります。「お金儲け」では語弊がありますし、嫌悪感をもたれる方もあると思います。それは、「お金儲け」が目的になってしまうと、「手段を選ばない」という「悪」のニュアンスを伴うからだだと思います。例えば、人を騙してお金を儲けるような詐欺まがいのことは断じて許しがたいことで、被害に遭ってはもちろん困りますが、加害者になってしまうのも「キャリア」としては最悪です。ですから「お金儲け」が最終的な目的になってはだめなのです。しかし、一方でお金が儲からないと生活ができないというのも事実です。そこで重要になるのが、「正しい方法」だだと思います。では、「正しい方法」とはどういうことかという、それは「社会貢献」です。このことは、経営の神様と言われた松下幸之助氏も「事業を通じて社会に貢献するという使命を遂行し、その報酬として社会から与えられるのが『利益』である。」と述べています。簡単に言えば、「人を喜ばせる、人を幸せにすること」によって、その結果として「お金が儲かる」のは、むしろ望ましいことなのです。これは、人間が社会的な生き物である以上、当たり前といえば当たり前のことですが、その当たり前の「社会貢献をして、その結果として報酬を得る」という望ましい形を生徒に感じてもらいたい。そして、その望ましい形を将来の自己の職業観・あり方に活かしてもらいたいというもう一つのねらいが、「起業家精神に学ぶ」という『アントレプレナーシップ教育』に込められているのです。もちろん、高校では「報酬を得る」ことはありません。しかし、生徒が吉賀町を活性化するビジネスプラン、町の人が元気になるようなプランを考えて、町を元気にすることの喜びを味わい、そしてそれが実際に将来の仕事になり得るのだということ、さらにはその結果として「お金が儲かる」可能性があるのだということを感じてもらえんとするならば、それはすばらしいことではないでしょうか。

四国・徳島県のある小さな村では、高齢者でもできる「葉っぱビジネス」が成功し、若者の帰村も増えているということです。吉賀町にもそんなビジネスの種はたくさんあるのではないのでしょうか。吉賀町の課題として誰もが困っているようなことをうまく解決できるような方法を見つけたり、また、例えば“葉っぱ”のように吉賀町では身近すぎて誰もが“使える”と気づきもしないようなものを商品化したりすることができれば、そのことでみんなが喜ぶでしょうし、そしてそれはビジネスになるかもしれません。そんな可能性を、吉賀高校のキャリア教育の経験の中で見つけてもらいたいと思っています。

地域系部活動成果報告会

10月20日に、浜田市合同庁舎で、地域系部活動中間報告会・交流会がありました。6校が集まり、日頃の活動について、意見交換をしました。最初はみんな緊張している様子でしたが、アイスブレイクなどをしているうちに緊張も解けました。さて、地域系部活動とは、地域について課題を発見し、地域の人を巻き込みながら活動を進めていく部活です。本校は、今年度から、環境部門も設立され新たな活動を開始しています。地域イベント向けのライスバーガーの製作・販売、高津川の水質調査、石鹸作りなど、幅広く活動しています。今回の報告会では、他校の活動を知ることができ、刺激にもなりました。これからもより良い活動をしていきたいと思っています。また、地域の方へ協力をお願いすることもあるので、そのときは、よろしくお願いします。(2年2組 能美)



島根県教育委員会主催「しまね教育の日フォーラム2017」参加発表

11月3日(金・祝)、松江にあるくにびきメッセにて、しまね教育の日フォーラム2017が開催されました。本校から2年能美健生君、1年谷元美月さんがパネルディスカッションのパネリストとして参加してきました。県内4校から計8名の高校生がパネリストとなり、島根の教育の魅力化というテーマで、セッションが行われました。会場からの質問に答えたりと、臨機応変さが必要でしたが、二人とも堂々とした態度で、自分の意見を述べていました。(毛利)



アサヒグループの方来校

11月6日(月)に、若武者育成塾の主催者であるアサヒグループより、2名の方が来校され、活動計画の進捗状況を確認されました。生徒との話し合いの中で、吉賀高校のテーマの良さや12月に東京で開催される発表会に向けてのアドバイスを教えていただいたり、進捗状況が思うように進んでいない活動に対して、激励をいただいたりしました。おかげで生徒のモチベーションも上がり、俄然、やる気になってきました。また町内4中学校にアンケートを御協力いただいております。ありがとうございました。発表会に向けて、吉賀高校らしいプレゼンをしていきたいと思っています。(毛利)



部 活 動 報 告

◎サッカー部

年末年始に首都圏で開催される「全国高校サッカー選手権」の県予選に出場しました。5月の総体終了後、この大会を目指して3年間部活動が続けた岩本・木戸・山口・山本・黒川・桑原らの3年生を中心に、40チームを超えるチームの胸を借り、練習試合でチーム力を高めてきました。しかし、本番でその力を十分に発揮できず1回戦を突破することはできませんでした。持っている力を出し切る難しさを改めて学ぶことになりました。この経験を一生の財産として、たくましく生き抜いてくれると期待します。いつも、応援いただいております地元の皆様、この一年間ありがとうございました。皆様のご期待に応えられますよう、これからがんばります。新年早々1月には、リーグ戦2部昇格をかけた入れ替え戦に挑戦します。引き続きご声援いただきますようお願いいたします。（高橋）

★県選手権 10月27日（金） 【会場】松江農林高校

1回戦 吉賀高校 1－2（前半 0-1 後半 1-1）平田高

★高円宮杯 2017 島根県ユースリーグ（3部西部）

【結果】7勝3敗2分で第2位⇒第1位の益田高校と共に島根県2部リーグ昇格戦への出場権を獲得。⇒1月6日：出雲工業、1月7日：松江北 【会場】出雲健康公園人工芝グラウンド



◎女子バレーボール部

県選手権では、初戦津和野高校と対戦し、苦戦しましたが2－0で勝つことができました。2日目、ベスト8をかけて松江南高校と対戦しました。レシーブで粘ることはできるものの、決定力に欠け0－2のストレートで敗退しました。1月の新人戦に向け、日々の練習を大切に、どんなチームに対しても勝負ができるよう努力を重ねていきたいと思ひます。当日は、多くの方々に会場にお越しいただき、応援していただきました。大変ありがとうございました。（上野城）

★県選手権 11月10（金）～12日（日）

【会場】情報科学高校・安来高校・安来市民体育館

【結果】2回戦 吉賀 2（25－20、30－28）0 津和野

3回戦 吉賀 0（8－25、11－25）2 松江南



◎男子バレーボール部

初戦でベスト8をかけて大東高校と対戦しました。1セット目は一進一退の攻防となり、終盤に一時リードしましたが、最後は25－25から2点取られ25－27でセットを落としました。2セット目も1セット目のような接戦に持ち込みたかったですが、サーブレシーブの乱れから思うように攻撃できずセットを落としました。今後は1月の新人戦に向けて練習を積んでいきたいと思ひます。ご声援ありがとうございました。（山崎）

★県選手権 11月11日（土）

【会場】安来市民体育館 【結果】2

回戦 吉賀 0－2 大東（25－27、15－25）



◎ソフトテニス部

10月27日～29日に行われた新人戦に出場しました。今回の大会では1年生の谷元さんに助っ人で出場していただき、団体戦にも出場しました。個人戦・団体戦すべてにおいて、初戦敗退という結果になりましたが、くやしさに涙を流す一面も見られ、次の大会に向けての、いい経験になった大会だったと思ひます。新年度の中国大会予選まで、しっかり練習に励んでいこうと思ひます。応援等、大変ありがとうございました。（小笹）

★新人戦 10月27日（金）～29（日） 【会場】江津市営テニスコート

【結果】団体戦：1回戦 吉賀 0－3 三刀屋

個人戦・1回戦 山元・泉 3－4 大田 / 遠藤・谷元 0－4 益田

中高一貫教育だより -吉賀地域中高一貫教育事務局(島根県立吉賀高等学校内) -

トッランナーとともに、走り抜けた中高合同ロードレース大会！

立冬の11月7日（火）、吉賀高校を発着点として中高一貫合同ロードレース大会が行われました。今回は東京吉賀会のご協力のもと、特別ゲストとして、旭化成の佐々勤氏による、講演会・ランニング教室も実施されました。腕の振り方、呼吸法について丁寧なアドバイスをいただきました。

そして、スタートの号砲とともに全コース佐々氏と一緒に高尻方面に向かって勢いよく走り出しました。地域の皆様の温かな声援の下、懸命に走り切った大会となりました。以下に各コースの結果をお知らせします。

また、給水をしていただいた中学校保護者の皆様、豚汁を作っていたいただいた吉高保護者の皆様本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。（教頭 福井）

Aコース・・・高校男子及び中学生男子（12km）

高校の部 1位 桑原健斗 2位 山本凌真 3位 南波敏広

中学校の部 1位 友重夏輝(柿中) 2位 米原侑汰(柿中) 3位 豊田亮介(六中)

Bコース・・・高校女子及び中学生男子、女子（8km）

高校の部 1位 茅原なつき 2位 長津有泉 3位 前田愛日

中学男子の部 1位 遠藤愛己(蔵中) 2位 米原汰一(柿中) 3位 神手プラナヤマ晃明(六中)

中学女子の部 1位 橋本菜々(六中) 2位 茅原こずえ(吉中) 3位 河村海音(吉中)

Cコース・・・中学生女子（5km）

1位 中村妃乃(六中) 2位 笠江真雪(柿中) 3位 中村由起(六中)

Dコース・・・3kmのコース

1位 赤松真一(柿中)

また、佐々氏より、特別に4人の生徒へ敢闘賞が授与されました。

敢闘賞・・・茅原こずえ（吉中） 藤永宝彦（吉中） 桑名蓮司（六中） 松田祥果（吉高）



【親学プログラム】

吉賀高等学校PTAでは、吉賀町教育委員会にご協力いただき、「親学プログラム研修」を開催いたします。「親学プログラム」とは、親同士の交流を通して、親としての役割や子どもとのかわり方の気づきを促す、学校・家庭・地域が連携して、地域ぐるみで子育て世代を応援・支援するために島根県教育委員会で開発された参加型の学習プログラムです。わが子だけでなく“よその子・よその親・学校・家庭等との関係性”を考えたり、現代版「子育てに関する井戸端会議」を試してみたりしませんか。参加希望の方は前日までに吉賀高校（0856-78-0029）までご連絡ください。（安達）

○日時：平成29年12月9日（土）10時00分～12時00分

○場所：吉賀高等学校図書室

○対象：高等学校保護者及び町内4中学校保護者

（保護者の方以外でご希望の方は高校までご連絡ください。）

○主催：吉賀高等学校PTA

○共催：吉賀町教育委員会